

令和8年度 Mine みらいトーク<大田地区>

日時:令和8年7月14日(火) 18:21~20:31 場所: 美東地域まちづくりセンター 研修室

団体	美東サークル【3名】
テーマ	・美東サークルの活動における諸課題について ①活動資金の課題 ②用具・備品の課題 ③子ども食堂の課題

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
美東サークルは、中学校の部活動地域展開の受け皿として、吹奏楽、野球、ピククルボール等、スポーツ、文化の活動を実施しています。子どもの居場所づくり、多世代交流の促進といった教育的・福祉的役割も担っています。	市としても、部活動の地域展開は国の指針が流動的で、自治体として対応に苦慮している状況です。競技による費用の違いもあり、適切な予算規模の把握が課題となっています。	
スポーツ安全協会の補助金が令和9年度で終了予定のため、令和10年度以降の安定的な活動資金を確保したいと考えています。	「大田地域ゆめプラン」にサークル活動を位置づけ、内閣府の未来交付金等を活用する方策等について、検討されることを提案します。 また、演奏会のチケット販売など、自主財源を確保する仕組みづくりを提案します。	
市内各校に眠る楽器を有効活用したいと考えます。 また、老朽化した楽器の修理費用の確保について支援を求めます。	市内全学校の楽器の所在と状態を調査し、リスト化します。 調査結果に基づき、必要な修理費用の予算措置を検討します。	
ピククルボールは小学生に人気の活動ですが、用具を所有者から借用している状況であり、子ども用の用具が無いため購入への支援を求めます。	ピククルボール用具の価格等を確認し、美祢市スポーツ協会への登録などを通じた支援の可能性を検討します。 当該マシンが市の備品台帳に登録されているかを確認し、	

美東中学校にある故障した野球のピッチングマシンを修理または更新したいと考えます。	対応を検討します。	
子ども食堂への補助金が減少している現状があり、支援の継続を要望します。	子育て支援課に現状を確認し、対応を検討します。	

団体	(有)盛和会 グループホームのぞみ苑【5名】
テーマ	・地域密着認知症対応型グループホーム運営の活動報告と現状の課題について ・敬老会の在り方について ・美祢市で閉校した小・中学校に残されたピアノの公的な場所での復活について

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
ケアマネジャー不足(1人当たり30～40人担当)し、権利擁護事業(日常生活自立支援事業)はひっ迫しています。美祢市の認知症支援策が「オレンジカフェ」等に停滞しているように思います。東包括とは連携していますが、市包括とは連携不足であるなど改善する必要があると思います。 周南市のような「認知症伴走型支援事業」を創設し、20年にわたる看取りまでのケア実績をもつグループホーム「のぞみ苑」を相談窓口・支援拠点の一つとして位置づけて欲しいと考えます。 「ミニケアネット」への市の積極的な関与が必要です。 中高生の職場体験先として介護事業所を積極的に活用することを要望します。	「認知症伴走型支援」については、市の重層的支援事業の枠組みの中で、関係機関との連携を深める必要があると考えます。 市担当部署のキャッチボール不足や、各提案については、関係機関や部署間で情報共有し、検討・対応を図ります。	

グループホーム入所者に対し、敬老会への招待がなく、記念品配布のみで対応されます。一方、於福地区では送迎付きの招待があり、地区毎で統一されていません。地区社協関係者へ問題提起した際、慣例を理由に断られましたが、個人の尊厳と人権に関わる問題であり、施設入所者も在宅者と同様に扱い、敬老会への参加意思を確認し招待すべきです。「施設に入ったから参加できない」という前提の運用を改めるべきです。	「敬老会」の件は、主催者である各地区社会福祉協議会とも協議し、実態把握に努め、改善策について検討します。	
市内に 11 台以上の閉校施設のピアノが眠っていると聞いています。美東・秋芳地域まちづくりセンターへのピアノ設置は、度重ねての協議の結果、進めていただくことで結論が出ています。しかしながら、萩市役所におけるロビーピアノの設置やロビーコンサートの成功事例などにあるように、市民が音楽を楽しむ機会の創出を図り、今後、ストリートピアノ等としての活用などを検討していただきたいと思います。 また、市主催のイベント等で音楽家としての自分を活用していただきたいと思います。	美東・秋芳まちづくりセンターへのピアノ設置は予定通り進めます。 「ピアノ活用」の件は、担当者間のコミュニケーションを密にし、進捗を管理します。	